

NPO 法人

全日本語りネットワーク

〒185-0021 東京都国分寺市南町 2-18-3 国分寺マンション B-03A

(Fax) 0237-67-7001 (振替) 00130 - 2 - 114808

(E-mail) welcome@japankatarinet.jp

(HP) <http://japankatarinet.jp/>

2021. 4. 28 発行

ニュース

「語りの場」としてのオンライン語りの会

全日本語りネットワーク理事長 井上幸弘（山形県朝日町）

2011年3月11日の東日本大震災から10年が経過しました。全日本語りネットワークは、宮城県南三陸町ホテル観洋を会場にしてこれまで3回の語りのイベントを行ってきました。2014年に実施した「第12回全日本語りの祭り」。2017年、2019年に実施した「テラブレーション平和の語り」です。東日本大震災から3年後に行った「第12回全日本語りの祭り」では、300人の参加者がホテル観洋の「語り部バス」で被災地を巡り、南三陸町佐藤仁町長、ホテルの女将 阿部憲子さんはじめ地元の方々のお話を伺い、しづがわ民話の会の皆さんからは、地元の民話と被災体験を語っていただきました。参加者にとって記憶に残る語りの祭りとなりました。

2021年3月11日、ネットワークからのメッセージをつけて、南三陸町へ義援金を送らせていただきました。また是非出かけて交流したいものです。

さて、昨年1月からの新型コロナウイルス感染拡大に伴い、全国でこれまで日常的に行って来た対面での語りの会の実施がほぼ困難になりました。集まって行うネットワークの事業は、全て中止となりました。

そのなかで初めての取り組みとして2020年11月22日、紙上テラブレーションとともに、オンラインで「テラブレーション平和の語り」を行いました。

私もオンラインでの語りを行いました。パソコンの画面に向かって語ることに慣れないのですが、画面をとおして遠く離れた方の語りを聴くことができました。さらに2021年3月6日には、オンラインで「第10回ほかほか語り」と紙芝居の会」を行い、楽しい時間を過ごすことができました。

新型コロナウイルスの収束が見込めないなか、ネットワークとして2021年度の全ての事業をオンラインで行うこととしました。総会のあとの語りもふくめて、6回の語りの会を行います。理事の大島広志さんの民話講座も予定しております。詳しくは2ページ総会案内、13ページ総会議案書事業計画（案）をご覧ください。

オンラインで行うことに抵抗のある方もいらっしゃるかもしれませんが、コロナ禍の状況の中で、語り活動の一つとして有効なものだと考えております。日常の延長の中で行われるオンラインでの語りは、現代版「語りの場」と言えるのではないかと思います。

「全日本語りの祭り」は2022年に延期しましたが、2021年度はオンライン語りの会を実施するなかで、会員のみなさんと語りの世界を共有していきたいと思っております。オンライン語りの会に挑戦して、新しい語りの場を体験してみませんか。

また、ネットワークニュースでは「語り」をはじめることになったきっかけや、イチオシの「お話」を募集しております。会員の皆さまの積極的な投稿をお待ちしております。



2019年テラブレーション平和の語り